

日野土木実験所

軌道・路盤研究室

所在地 東京都日野市大坂上3-9

概要 日野土木実験所は、土木関係の試験設備のうち、主として線路設備に関係した比較的大規模な屋外試験および室内試験を行う設備として1970年(昭和45年)に千葉県・津田沼から現在の場所に移設されました。1987年(昭和62年)の国鉄のJR移行に伴い鉄道総合技術研究所が継承し、現在に至っています。

- ◆ 敷地面積: 14700m²
- ◆ 試験線延長: 850m



☞ 日野土木実験所の全景

S型弾性まくらぎ直結軌道の性能確認試験☞



☞ 大型起振機による加振試験



主な試験装置

◎軌道動的載荷試験装置

試験ピットに構築した軌道に対して静的・動的な輪重を載荷する試験装置です。

| 主要諸元 | |
|---------------|---------------|
| 最大載荷力 (静的) | 120kN (上下) |
| 最大載荷力 (動的) | 100kN (上下) |
| 最大ストローク | ±50mm (上下) |
| 載荷周波数 | 0.01~50Hz |
| 制御方法 | 荷重および変位制御 |

